

# PBX更改用無瞬断コードを開発しました

<特許申請中>

PBX更改時のジャンパー線張替え工事が**無瞬断で作業出来る**コードを開発しました。

張替え作業の信頼性向上と  
施工能率向上

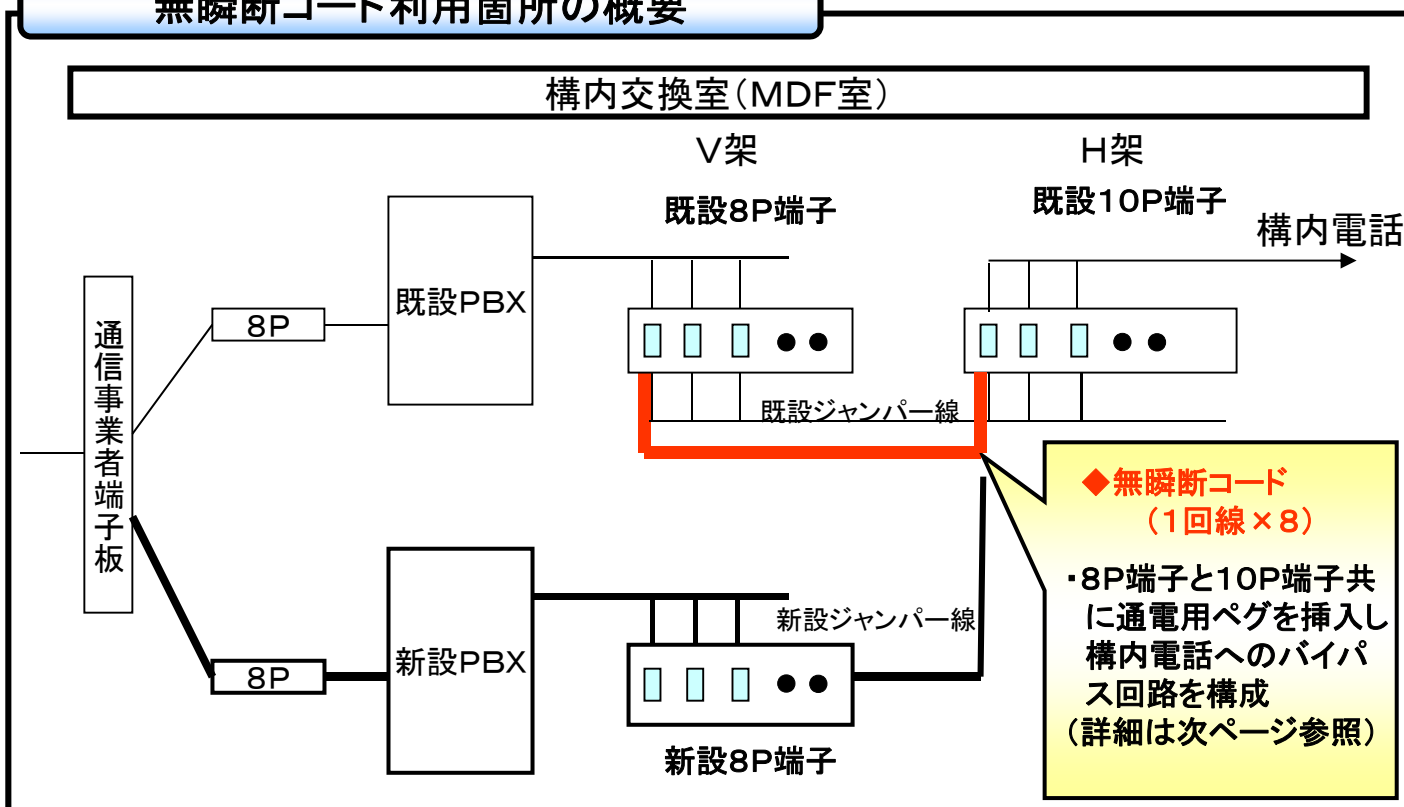
## 特徴

弾器に通電用ペグを挿入して、バイパス回路を構成しジャンパー線の張替え作業を無瞬断で行うコード(バイパスコード)です。

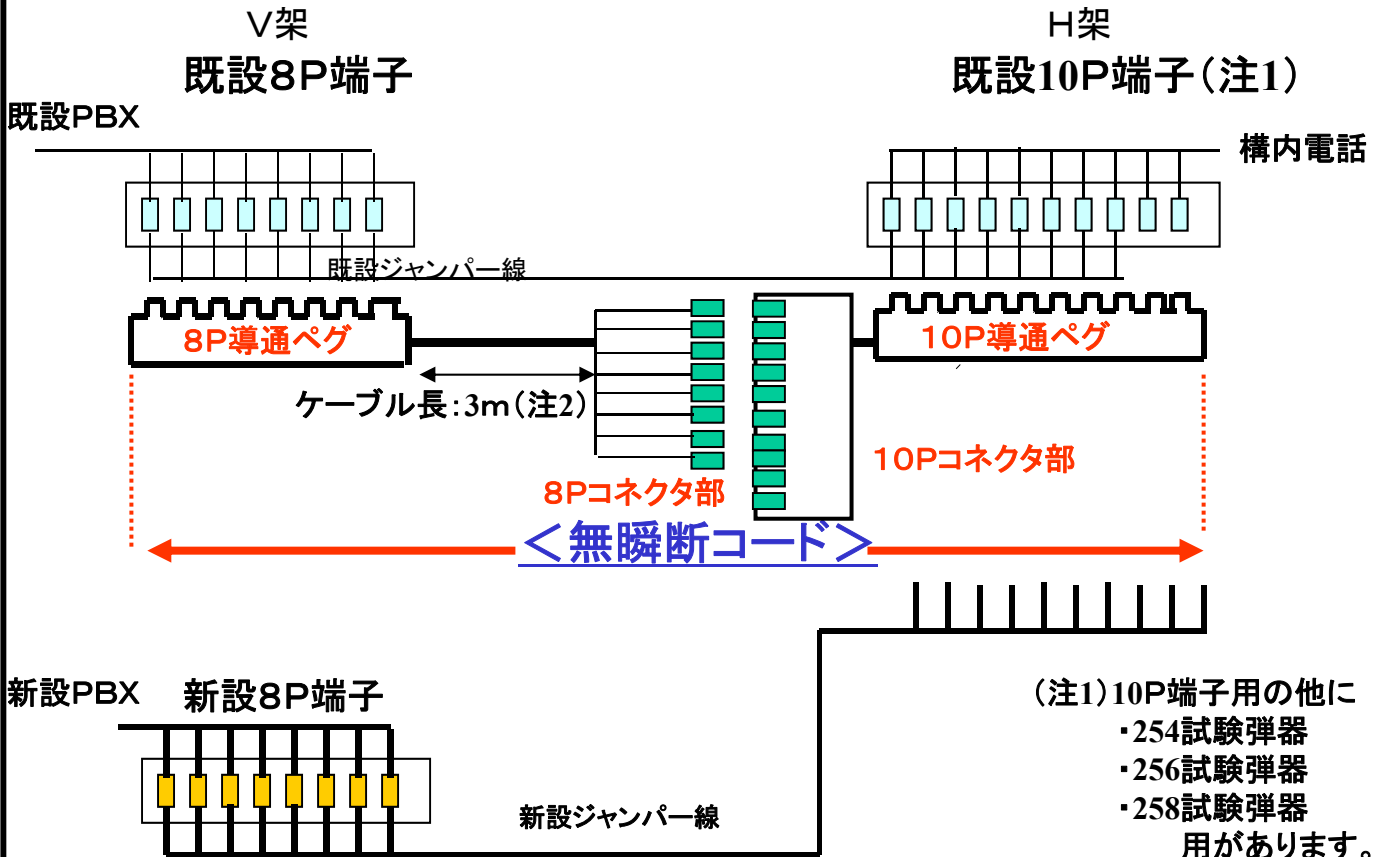
## 利用効果

1. ジャンパー線の張替え工事を無瞬断で実施可能
2. 平日張替え工事が可能
3. モニタリングが不要
4. 回線借用が不要

## 無瞬断コード利用箇所の概要



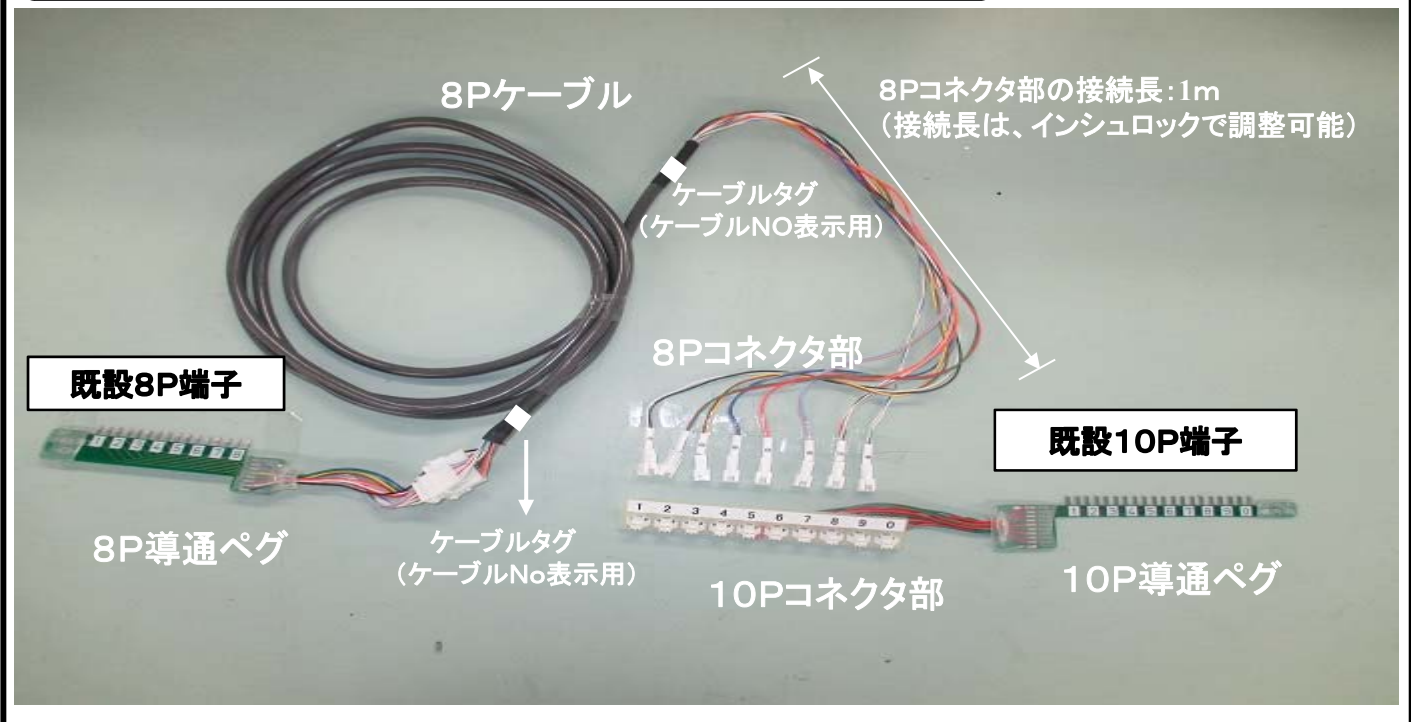
## 無瞬断コードの構成品(8P端子~10P端子)



(注1) 10P端子用の他に  
 ・254試験弾器  
 ・256試験弾器  
 ・258試験弾器  
 用があります。

(注2) 3m以上の長さが必要な場合は、延長コード(3m・1回線用)がご利用できます。

## 無瞬断コードの写真(8P端子~10P端子)

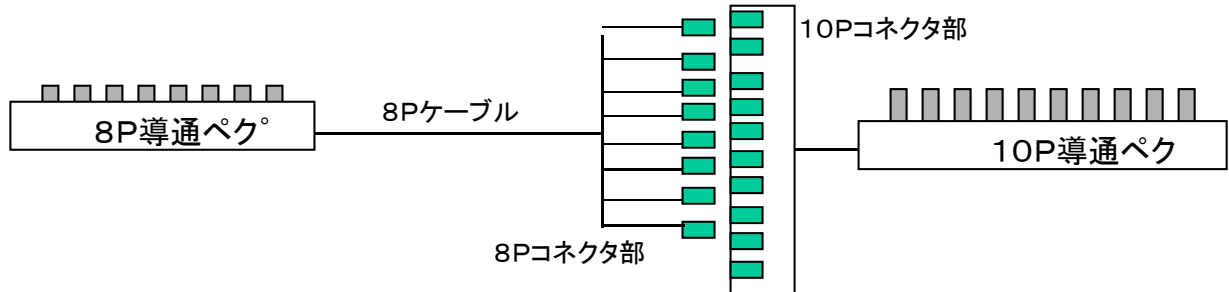


## 無瞬断コードの種類・品名

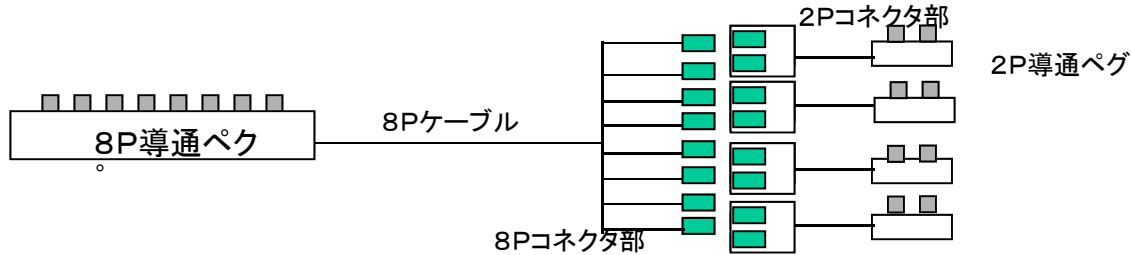
・V側利用端子とH側利用端子により下記の種類・品名が適用となります。

種類・品名	V側端子	H側端子	
		端子・弾器種別	回線数
無瞬断コードセットA(クローネ10P用)	8P端子 (クローネ製) 8回線	10P端子(クローネ)	10回線
無瞬断コードセットB(254-TS用)		254-TS	8回線
無瞬断コードセットC(256-TS用)		256-TS	9回線
無瞬断コードセットD(258-TS用)		258W-TS	8回線
延長コード	3m延長コード		1回線
支持具	無瞬断コードの支持用		

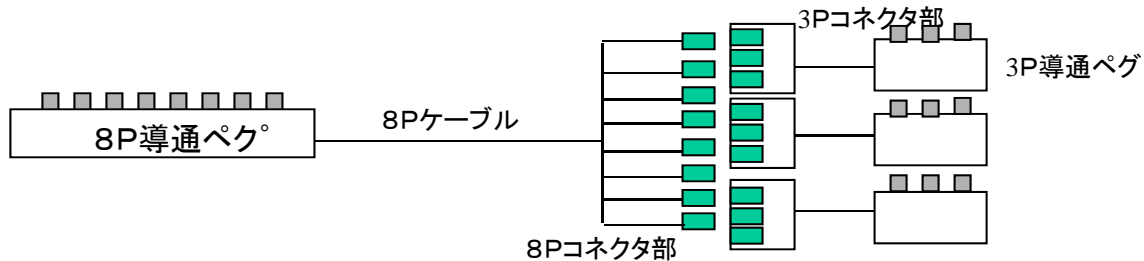
1.無瞬断コードセットA(クローネ10P用) <8P導通ペグ+8Pコネクタ部+10Pコネクタ部+10P導通ペグ>



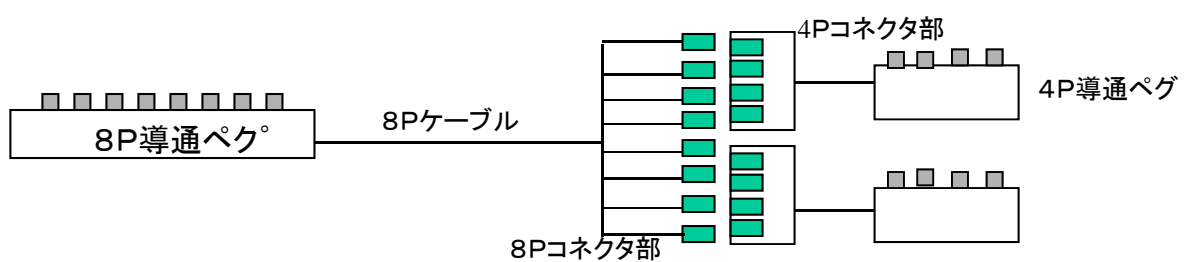
2.無瞬断コードセットB(254-TS用) <8P導通ペグ+8Pコネクタ部+(2Pコネクタ部+2P導通ペグ)×4組>



3.無瞬断コードセットC(256-TS用) <8P導通ペグ+8Pコネクタ部+(3Pコネクタ部+3P導通ペグ)×3組>



4.無瞬断コードセットD(258-TS用) <8P導通ペグ+8Pコネクタ部+(4Pコネクタ部+4P導通ペグ)×2組>



5.延長コード(3m、1回線用) ケーブル長が3m以上必要な場合にご利用願います。(利用例参照)

6.支持具 無瞬断コード(ケーブルコード)の支持用としてご利用願います。(利用例参照)

# 無瞬断コードでラクラク工事！！

## 無瞬断コードの工事手順(8P端子～10P端子)

### <パターン1:全回線一括切替え工事>

#### 1. 新設PBX側の準備

- ①新設8P端子に新設ジャンパー線を接続し、既設10P端子へのジャンパー線接続準備を行う。
- ②新設8P端子に断線ペグを挿入する。
- ③新旧PBXの混触を避けるため、新PBXの電源は、下記4項まではOFFとする。

#### 2. バイパスコードの接続(導通ペグ挿入)

- ①全ての既設8P側端子の弾器に無瞬断コードの「8P導通ペグ」を挿入。
- ②全ての既設10P側端子の弾器に無瞬断コードの「10P導通ペグ」を挿入。
- ③上記①②項完了後、收容設計表等から「8Pコネクタ部と10Pコネクタ部」を接続する。

(既設8P端子と既設10P端子間のバイパス回路接続完了)

#### 3. 既設ジャンパー線の撤去

既設10P側端子のジャンパー線(既設8P端子側からのジャンパー線)を取り外す。

#### 4. 新設ジャンパー線の接続

新設8P側端子からのジャンパー線を上記3項の既設10P端子に接続。

#### 5. PBXの更改

旧PBXの電源OFF後、新PBXの電源をON及び、新設8P端子の断線ペグの撤去。  
(新PBXへの切替え完了。)

#### 6. バイパスコードの撤去

既設8P端子及び、既設10P端子に挿入されている「8P及び、10Pの導通ペグ」を取り外す。  
(コードの撤去。)

# 無瞬断コードでラクラク工事！！

## 無瞬断コードの工事手順(8P端子～10P端子)

### <パターン2:Wジャンパー工事>

#### ◆Wジャンパー工事

・PBX更改工事前に10P端子部の既設8Pジャンパー線を抜いて、新ジャンパー線を接続、その後既設8P側のジャンパー線を再び(Wダブル)接続する。

#### 1. バイパスコードの接続(導通ペグ挿入)

☆配線ケーブル単位に分ける等、小規模の回線収容替えを順次考慮。

- ①既設8P側端子の弾器に無瞬断コードの「8P導通ペグ」を挿入。
- ②既設10P側端子の弾器に無瞬断コードの「10P導通ペグ」を挿入。
- ③上記①②項完了後、線番表(収容設計表等)から「8Pコネクタ部と10Pコネクタ部」を接続する。

(既設8P端子と既設10P端子間のバイパス回路接続完了)

#### 2. 既設ジャンパー線の一時撤去

既設10P側端子のジャンパー線(既設8P端子側からのジャンパー線)を取り外す。

#### 3. 新設ジャンパー線の接続

新設8P側端子からのジャンパー線を上記2項の既設10P端子に接続。

なお、新設8P端子には断線ペグの挿入をする。

#### 4. 既設ジャンパーの再接続

上記3項の新設ジャンパー線の上に既設ジャンパー線を再接続する。

(Wジャンパー)

#### 5. バイパスコードの撤去

既設8P端子及び、既設10P端子に挿入されている「8P及び、10Pの導通ペグ」を取り外す。

☆手順1から手順5迄を繰り返し行う。

#### 6. PBXの更改

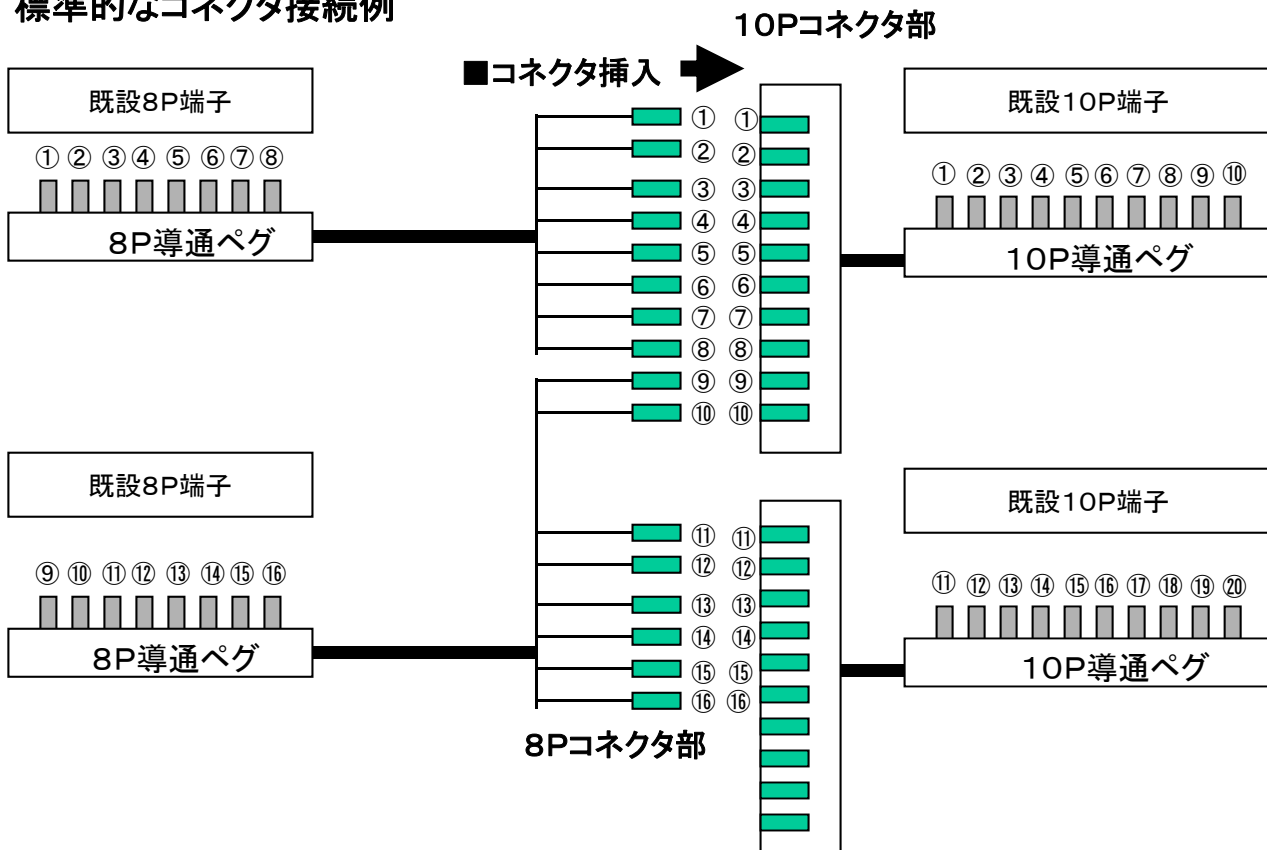
旧PBXの電源OFF後、新PBXの電源をON及び、新設8P端子の断線ペグの撤去。  
(新PBXへの切替え完了。)

#### 7. 既設ジャンパー線の撤去

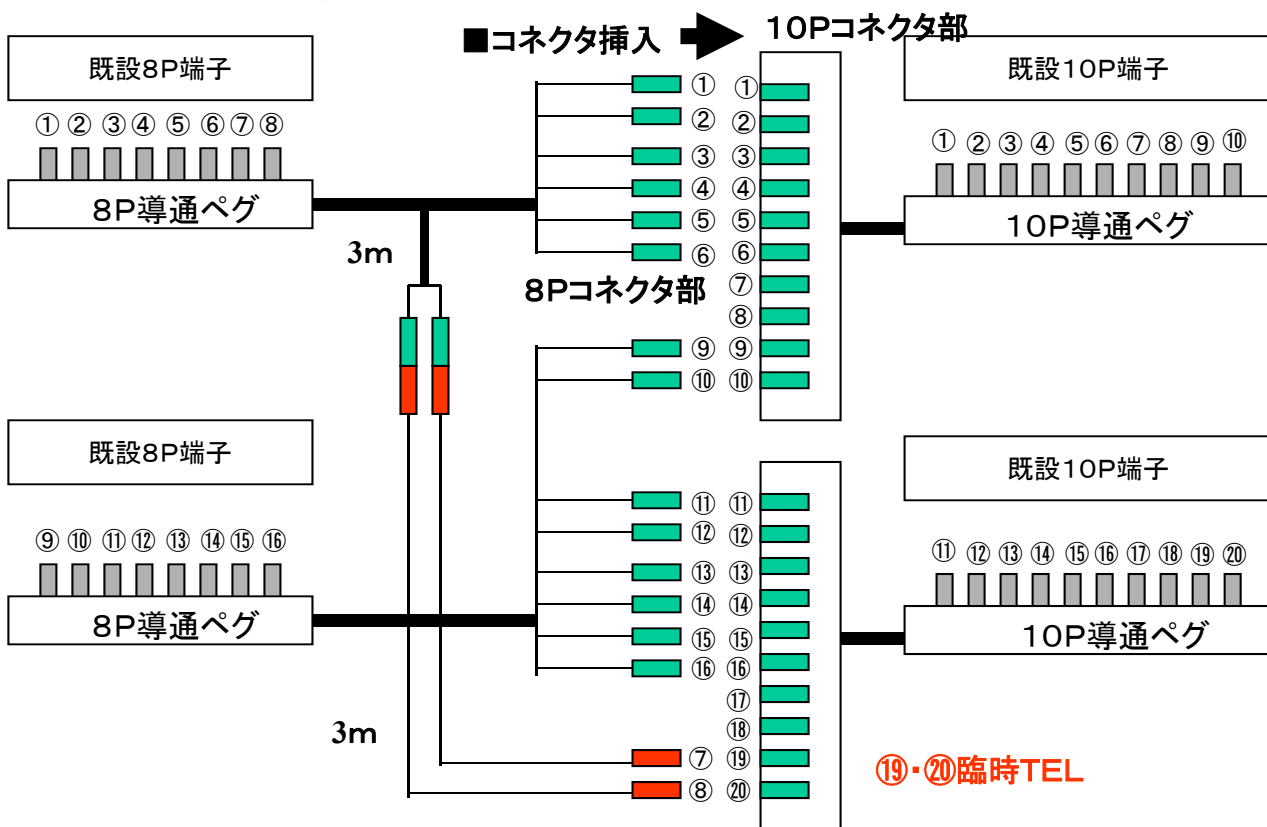
上記4項で接続した、既設ジャンパー線を撤去。

◆参考:コネクタ接続部の接続例(8P端子~10P端子)

1. 標準的なコネクタ接続例

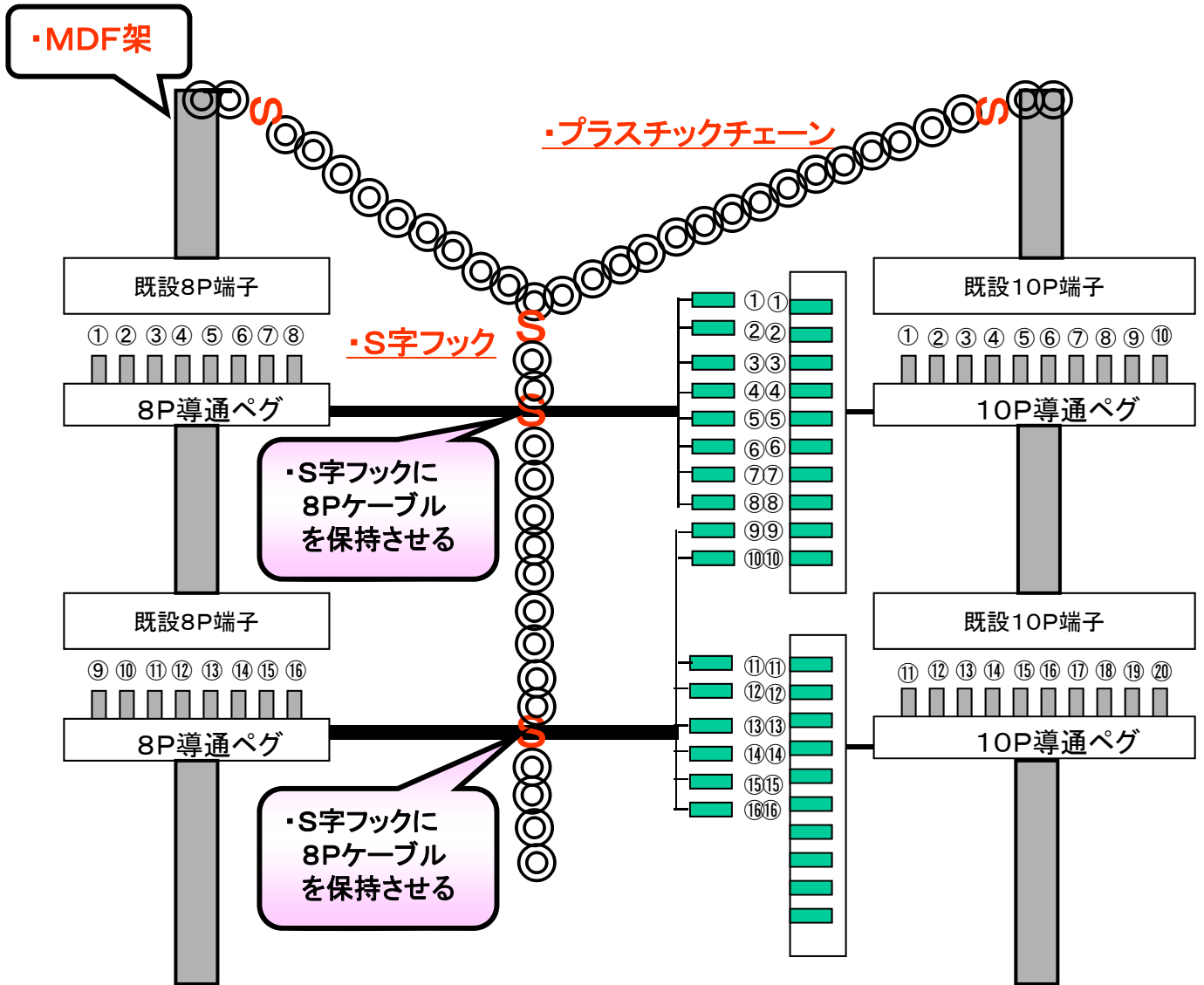


2. 配線替等による延長コード(2回線の場合)の利用例



## ◆参考: 支持具の利用例

◆支持具: 数本の無瞬断コード利用時にそれらの支持用として、作業性の向上と接続部(ペグ)の振動保護等にご利用願います。

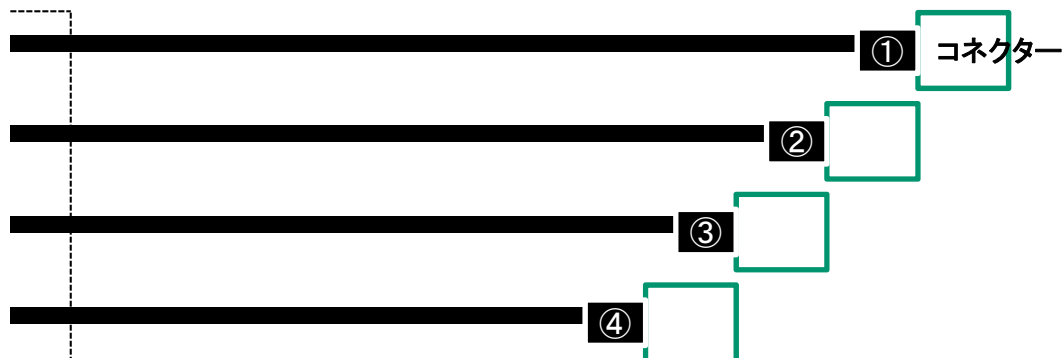


## ◆参考: 8Pコネクタ一部の回線識別について

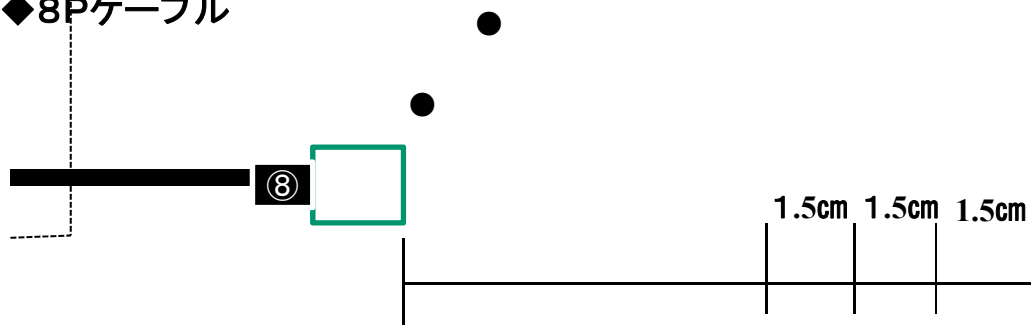
### ■8Pコネクタと10Pコネクタの接続作業性の向上

- ・回線毎ごとの番号表示に、更にケーブル長さを変えて選別しやすくしました。

←8P端子側



### ◆8Pケーブル



製品仕様は、予告無く変更される場合がございますので予めご了承ください。

H28.4現在



株式会社 川口電機製作所

皆様にお役だていただける製品をご提供します

E-Mail: sales@kawaguchidenki.co.jp

電話: 03-5491-0111

FAX: 03-5491-0112

〒158-0097 東京都世田谷区用賀3-3-21